

# 令和8年度佐賀県特別支援教育研究会 総会及び第1回研修会

令和8年6月2日（火） オンライン開催

1 開 会 14:30

2 会長挨拶 佐賀県特別支援教育研究会会長 白濱 正博（白石町立六角小学校校長）

3 議長選出

4 協 議

- (1) 令和7年度業務報告 (P6)
- (2) 令和7年度会計報告 (P7、8)
- (3) 令和7年度会計監査
- (4) 佐賀県特別支援教育研究会会則 内規の変更について  
佐賀県特別支援教育研究会（県特研）の概要について (P9)
- (5) 令和8年度役員（案）(P10)
- (6) 令和8年度業務計画（案）審議 (P11)
- (7) 令和8年度予算（案）審議 (P12、13)
- (8) 佐賀県特別支援教育研究会 令和8年度～11年度研究テーマについて（案）(P19)

5 連 絡

- (1) 令和8年度以降の事業・輪番について (P14～17)
- (2) 県特研申し合わせ事項について (P18～20)
- (3) 負担金の納入について (P21)
- (4) 県特研より推薦の表彰候補者について (P22)
- (5) 機関紙「ともしび その68」について (P23)
- (6) アンケートについて (P24)

6 研 修 会 15:00～16:30

- (1) 講 演 「わかる」「できる」ICT活用  
講 師 佐賀県立中原特別支援学校 教諭 松永 泰臣氏
- (2) 質疑応答
- (3) 謝 辞

7 閉 会 16:30

# 佐賀県特別支援教育研究会 会則

## ( 名 称・組 織 )

- 第 1 条 この会は、佐賀県特別支援教育研究会と称し、別に定める輪番で特別支援学校に事務局をおき、県内に支部をおく
- 第 2 条 支部は三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、LD・ADHD等教育研究会とする。
- 第 3 条 この会は、特別支援教育を実施する学校及び特別支援教育について賛同し、研究しようとするものをもって組織する。

## ( 目 的 )

- 第 4 条 この会は、学校教育法に規定する障害のある児童生徒の教育について、その理論及び実際を研究し、特別支援教育の振興に寄与することを目的する。

## ( 事 業 )

- 第 5 条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- 1 特別支援教育に関する研究会、講演会の開催
  - 2 特別支援教育に関する研究発表及び資料交換
  - 3 特別支援教育施設の視察研究
  - 4 特別支援教育に関する世論の喚起
  - 5 特別支援教育関係機関との連絡提携
  - 6 その他特別支援教育振興に必要な事項

## ( 役 員 )

- 第 6 条 この会に次の役員をおく。
- 会長1名、副会長2名、理事（各市郡若干名、特別支援学校7名、難聴・言語障害教育研究会1名、情緒障害教育研究会1名、LD・ADHD等教育研究会1名）、常任理事10名、監査2名、幹事若干名。
- 会長が必要と認める場合は顧問若干名をおくことができる。
- 事務局校より庶務、会計等を担当する事務局担当者を若干名おく。
- 第 7 条 会長、副会長、監査は理事会において選出し、総会で承認をうけるものとする。
- 理事は、三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、各特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、LD・ADHD等教育研究会で選出する。
- 常任理事は三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、LD・ADHD等教育研究会単位に理事の中から1名選出する。
- 幹事及び顧問は会長がこれを委嘱する。
- 第 8 条 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
- 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
- 監査は本会の業務並びに会計を監査する。
- 幹事は会務を処理する。
- 第 9 条 役員任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。

## ( 会 合 )

- 第 10 条 この会の会議は総会及び幹事会、理事会、常任理事会とする。
- 会議は2分の1以上を以て成立し、議事は過半数をもって議決する。
- 第 11 条 総会は年1回会長がこれを招集し、本会運営に関する下記の事項を決議する。
- 1 会則の変更
  - 2 前年度決算並びに業務報告の承認
  - 3 新年度事業並びに予算審議
  - 4 役員承認
  - 5 その他重要事項

第12条 理事会は総会に次ぐ決議機関であり、会長が必要と認めた場合及び理事の2分の1以上の要請があった場合会長がこれを招集する。

幹事会は、会の実務運営に関して検討・審議し、理事会に諮るものとする。

常任理事会は、会長が必要と認めた場合これを招集し、会の運営について審議する。

第13条 不測の事態および非常事態等で会員が一堂に参集できない場合には、次の通り行う。

1 書面による審議の上、書面表決にて決議する。

2 議案の可決については提出された有効な書面のうち、賛成が過半数の場合に可決とする。

( 会 計 )

第14条 この会の経費は、会費、その他をもってこれにあて、年度初めに納入するものとする。

第15条 この会の会計年度は4月1日より翌3月31日までとする。

(附則) 1 この規約は昭和34年9月19日より実施する。

2 会則の一部改正 昭和36年6月7日

3 会則の一部改正 昭和38年6月19日

4 会則の一部改正 昭和39年6月30日

5 会則の一部改正 昭和40年7月1日

6 会則の一部改正 昭和41年5月20日

7 会則の一部改正 昭和42年5月24日

8 会則の一部改正 昭和44年5月22日

9 会則の一部改正 昭和49年6月8日

10 会則の一部改正 昭和51年5月27日

11 会則の一部改正 昭和52年6月8日

12 会則の一部改正 昭和54年6月11日

13 会則の一部改正 平成13年5月24日

14 会則の一部改正 平成14年5月28日

15 会則の一部改正 平成17年5月31日

16 会則の一部改正 平成19年6月5日

17 会則の一部改正 平成20年5月29日

18 会則の一部改正 令和4年5月24日

19 会則の一部改正 令和8年6月2日

(附記)

市町村合併に伴う会則の変更については、理事会での決議をもって対応することとする。

(内規)

佐賀県特別支援教育研究会会長は、2年毎に次の順番で持ち回りとする。

1 佐城地区 2 特別支援学校 3 三神地区 4 特別支援学校

5 唐津地区 6 特別支援学校 7 伊西地区 8 特別支援学校

9 杵武地区 10 特別支援学校 11 鹿嬉藤地区 12 特別支援学校

13 附属特別支援学校

(内規の変更)

佐賀県特別支援教育研究会会長は、平成31年度(西暦2019年度)を基点として、2年毎に次の順番で持ち回りとする。なお、特別支援学校に変動があった場合は、再考するものとする。

(事務局校)

(事務局校)

うれしの特別支援学校 ⇒伊西地区 ⇒大和特別支援学校 ⇒杵武地区

⇒中原特別支援学校 ⇒三神地区 ⇒唐津特別支援学校 ⇒附属特別支援学校

⇒伊万里特別支援学校 ⇒伊西地区 ⇒うれしの特別支援学校 ⇒鹿嬉藤地区

⇒大和特別支援学校	⇒佐城地区	⇒中原特別支援学校	⇒三神地区
⇒唐津特別支援学校	⇒唐津地区	⇒伊万里特別支援学校	⇒伊西地区
⇒うれしの特別支援学校	⇒杵武地区	⇒大和特別支援学校	⇒三神地区
⇒中原特別支援学校	⇒佐城地区	⇒唐津特別支援学校	⇒附属特別支援学校
⇒伊万里特別支援学校	⇒		

特別支援学校の変動により、佐賀県特別支援教育研究会会長を、令和7年（西暦2025年度）を基点として、2年ごとに次の順番で持ち回りとする。

(事務局校)

うれしの特別支援学校  
⇒中原特別支援学校  
⇒伊万里特別支援学校  
⇒大和特別支援学校  
⇒唐津特別支援学校  
⇒うれしの特別支援学校  
⇒鳥栖特別支援学校  
⇒伊万里特別支援学校

⇒伊西地区  
⇒三神地区  
⇒伊西地区  
⇒佐城地区  
⇒唐津地区  
⇒杵武地区  
⇒佐城地区  
⇒

(事務局校)

⇒大和特別支援学校  
⇒唐津特別支援学校  
⇒うれしの特別支援学校  
⇒鳥栖特別支援学校  
⇒伊万里特別支援学校  
⇒大和特別支援学校  
⇒唐津特別支援学校

⇒杵武地区  
⇒附属特別支援学校  
⇒鹿嬉藤地区  
⇒三神地区  
⇒伊西地区  
⇒三神地区  
⇒附属特別支援学校

## 佐賀県特別支援教育研究会（県特研）の概要について

### 1 組織について ※会則参照

#### (1) 会員について

会則第3条：この会は、特別支援教育を実施する学校及び特別支援教育について賛同し、研究しようとするものをもって組織する。

→ 特別支援学級、通級指導教室設置学校、特別支援学校の教職員

#### (2) 組織構成について

全日本特別支援教育研究連盟（全特連）

九州地区特別支援教育研究連盟（九特連）

※他に北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国地区

佐賀県特別支援教育研究会（県特研）

支部：三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤

特別支援学校：大和、唐津、うれしの、伊万里、附属、金立、中原、鳥栖

研究会：佐賀県難聴・言語障害教育研究会（佐難言）

佐賀県情緒障害教育研究会（佐情研）

佐賀県LD・ADHD等教育研究会

#### (3) 役員について

① 理事：各市郡若干名、各特別支援学校、各研究会より1名ずつ

現行は12地区、3研究会の代表の校長先生、8校の特別支援学校の校長先生の計23名

② 常任理事：各支部、特別支援学校、各研究会より1名ずつ（11名）

③ 幹事：若干名（現行は各支部、各特別支援学校、各研究会より教諭1名ずつの17名）

④ 会長1名、副会長2名、監査2名

⑤ 事務局：事務局長1名、会計1名、幹事（庶務）1名の計3名

### 2 主な業務について

#### (1) 主催事業等

① 理事研修会：年2回（5月、1月）

② 幹事研修会：年5回（5月2回、7月、10月、1月）\*R2年より

③ 総会及び研修会（5月）

④ 夏季研究大会（8月）：講演と5つの分科会

（小学校、中学校、特別支援学校、佐情研、LD・ADHD等研）

⑤ 機関誌「ともしび」発刊（1月）

⑥ 佐賀県内特別支援学校及び特別支援学級設置校名一覧（設置校一覧）作成（8月）

#### (2) 共催事業

① 障がい児（者）の教育・福祉・就労研修佐賀県大会（7月～8月）

（佐賀県手をつなぐ育成会主催）

② 新年情報交換会（1月）

佐賀県手をつなぐ育成会、佐賀県知的障害者福祉協議会、佐賀県特別支援教育研究会、佐賀県社会就労センター協議会の四者共催  
（主管は県特研）

### (3) 関連大会

#### ① 全日本特別支援教育研究連盟全国大会：全体会及び分科会

- ・全体会：開会式、表彰式（功労賞及び研究奨励賞）、研究発表2本、行政説明、基調報告、記念講演
- ・分科会：公開授業、18～25の分科会（提案2本）
- ・佐賀県：4年に1回程度提案

#### ② 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会：全体会及び分科会

- ・全体会：開会式、総会、中央情勢報告、記念講演
- ・分科会：公開授業、7つの分科会（提案3本）
- ・佐賀県：毎年提案者2名、司会者1名、助言者1名

※ 佐賀県開催の場合、佐賀県への従来の割り当てに加え、7つの分科会に提案者、助言者、司会者、記録者等を出す。

#### ③ 加盟各研究会の大会

### 3 運営費用について

- (1) 負担金 会員校より 1校当たり 1,955円（平成26年度）
- (2) 補助金 県より 60,000円
- (3) その他 特別会計について

令和 7 年度 佐賀県特別支援教育研究会 業務報告

事業名	期日	業務内容	会場等
・第1回 運営委員会	4月25日(金) 15:00~16:30	・第1回理事・幹事研修会に向けての打ち合わせ	中原特別支援学校 (みやき町大字原古賀)
・第1回 幹事研修会 ・第1回 理事研修会	5月8日(木) 15:00~16:30	・令和6年度業務・会計報告、監査報告 ・令和7年度役員選出 ・令和7年度業務計画案・予算案について ・令和7年度表彰候補者推薦について ・令和7年度九特連長崎大会について ・その他	アバンセ (佐賀市天神3-2-11 TEL 0952-26-0011)
・九特連長崎大会 評議員会①	5月22日(木)	・令和6年度業務・会計報告、監査報告 ・九特連長崎大会について(令和7年度業務計画・予算案・大会日程等) (会長、副会長、事務局長が参加)	各所(オンライン開催)
・第2回 幹事研修会	総会がリモート開催 のため実施しない	・総会準備 その他	
・総会 及び研修会	6月3日(火) 14:30~16:30	[総会] ・会長挨拶 ・R7年度役員案 ・R6年度業務、会計報告、監査報告 ・R7年度業務計画案、予算案、審議 その他 [研修会] ・研究調査報告 先進校視察 大淵 栄一先生(うれしの特別支援学校) ・九特連長崎大会プレ発表 山口 美里先生、松井 亜里更先生(伊万里特支学校) 待鳥由布子先生(中原中学校)	中原特別支援学校をホスト会場として のオンライン開催
・研究調査	7月~8月	佐賀県内特別支援学校名及び特別支援学級設置校名一覧作成	中原特別支援学校
・九特連長崎大会 評議員会②	7月10日(木)	・九特連長崎大会に向けての打ち合わせ (会長、副会長、事務局長が参加)	各所(オンライン開催)
・第3回 幹事研修会	7月22日(火) 15:00~16:30	・「総会及び研修会」の反省 ・「第66回障がい児(者)の教育、福祉、就労研修佐賀県大会」について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場として のオンライン開催
・研修会	7月27日(日)	第66回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会 感謝状受賞者推薦5名: 伊西地区、杵武地区、大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援 役員:副会長、記録、受付、保育など(県特研より17名参加)	北部地区(伊万里市) 伊万里市民センター (伊万里市松島町391-1)
・第59回 九特連長崎大会	8月1日(金) 9:30~16:20	・主題 「共生社会の中で多様な子供の可能性を引き出す特別支援教育の推進 ~学びの連続性と学びの場の充実に向けて~」 ・講演演題:「多様な子供へのキャリア発達支援と評価 ~キャリアパスポートの活用を通して~」 講師:弘前大学 教職大学院 教授 菊地 一文 氏 ・第1分科会 各教科等の指導(小学校段階) 提案者:伊万里特別支援学校 山口 美里先生 松井 亜里更先生 司会者:中原特別支援学校 梶原 ミサ 指導助言者:佐賀県教育振興課特別支援教育室 園田 洋平指導主事 ・第7分科会 発達障害への支援 提案者:みやき町立中原中学校 待鳥 由布子先生	アルカス S A S E B O (佐世保市三浦町2-3 TEL 0956-42-1111)
・第4回 幹事研修会	10月16日(木) 15:00~16:30	・上期運営の反省 ・機関紙「ともしび その67」編集・刊行について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場として のオンライン開催
・第64回 全特連全国大会 「北海道大会」	10月23日(木) ~24日(金)	・主題 「特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して」 ・記念講演演題:「一人一人の良さや強みを生かした、子供主体の学びの実現」 ~一人一人に合った学びの場や授業づくり~ 講師:広島都市学園大学 教授 竹林地 毅 様	カナモトホール (札幌市中央区北1条1丁目) ホテルライフオー札幌 (札幌市中央区南10条1丁目4-30) 札幌市及び周辺の幼稚園、認定こども園、特別支援学級、特別支援学校
・九特連長崎大会 評議員会③	10月30日(木)	・九特連長崎大会の反省等 (会長、副会長、事務局長が参加)	各所(オンライン開催)
・第2回 運営委員会	12月16日(火) 15:00~16:30	・第2回理事・第5回幹事研修会に向けての打ち合わせ	県総合福祉センター (佐賀市天祐1丁目8-5)
・第2回 理事研修会 ・第5回 幹事研修会	1月9日(金) 15:00~16:30	・令和7年度業務・会計に関する中間報告 ・令和8年度業務計画・予算案について ・機関誌「ともしび その67」の発行 ・その他	県総合福祉センター (佐賀市天祐1丁目8-5)
・新年情報交換会	1月9日(金) 19:00~21:00	・県特研、手をつなぐ育成会、知的障害者福祉協会、社会就労センター協議会の四者共催	ホテルマリアレ創世 (佐賀市神野東2丁目5番15号 TEL 0952-33-5511)
・会計監査	3月18日(水) 15:30~16:30	・令和7年度会計監査	中原特別支援学校

令和7年度 佐賀県特別支援教育研究会 一般会計 収支決算報告書

1 収入の部 (単位:円)

区分	予算額 a	収入額 b	増減額 b - a	備考
負担金	434,010	434,010	0	1,955円×222校=434,010
県費補助金	60,000	60,000	0	
寄付金	0	0	0	
活動補助費	0	0	0	
雑収入	0	511	511	銀行利息等
繰越金	132,780	132,780	0	R6年度残金
計	626,790	627,301	511	

2 支出の部

区分	予算額 a	支出額 b	残額 a - b	備考	
研究大会及び研修会	諸謝金	16,000	0	16,000	総会講師等 九特連佐賀大会 0
	旅費	3,000	0	3,000	総会 九特連佐賀大会 0
	資料費	10,000	0	10,000	総会 九特連佐賀大会 0
	賃借料	50,000	4,370	45,630	総会、理事・幹事会会場 九特連佐賀大会 4,370
	印刷製本費	0	0	0	
	会議費	0	0	0	
	消耗品費	6,000	1,150	4,850	総会、理事・幹事会等 九特連佐賀大会 1,150
	通信運搬費	20,000	5,280	14,720	切手代・通信代 0
小計	105,000	10,800	94,200		
研究調査	諸謝金	0	0	0	
	旅費	60,000	0	60,000	
	資料費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	賃借料	0	0	0	
	会議費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	通信運搬費	0	0	0	
小計	60,000	0	60,000		
研究成果刊行	旅費	0	0	0	
	資料費	0	0	0	
	印刷製本費	170,000	146,850	23,150	「ともしび」印刷費
	会議費	0	0	0	
	通信運搬費	10,000	0	10,000	
小計	180,000	146,850	33,150		
研究図書購入	資料費	5,000	3,650	1,350	職員録
	図書購入費	5,000	0	5,000	
	小計	10,000	3,650	6,350	
計	355,000	161,300	193,700		
負担金	九特連負担金	54,000	50,050	3,950	
	全特連負担金	150,000	125,667	24,333	
	スポーツ協会費	6,000	5,220	780	
	小計	210,000	180,937	29,063	
大会補助	0	0	0		
事務予備費	61,790	35,133	26,657	インク代・封筒代	
合計	626,790	377,370	249,420		

※九特連負担金 知的障害特別支援の設置数が4以下の学級 295学級×150円=44,250円  
 知的障害特別支援学級、特別支援学校の知的障害学級が5学級以上の学校 7校×750円=5,250円 計49,500円  
 振込手数料550円 合計50,050円  
 ※全特連負担金 佐賀県下学級数 501学級×250円=125,250円、振込手数料417円 合計125,667円  
 R6実績で計算

収入合計-支出合計=残額  
 627,301-377,370=249,931

3 次年度繰り越し金  
 249,931円を次年度へ繰り越します。

令和7年度佐賀県特別支援教育研究会一般会計について、証拠書類、預金通帳並びに会計簿を照合検査した結果、適正に処理されていることを認め、報告いたします。

令和8年3月 18 日

監査委員  
 みやき町立 北茂安小学校 校長

吉岡 功太郎

みやき町立 中原中学校 校長

川原 文

令和7年度 佐賀県特別支援教育研究会 特別会計 収支決算報告書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予算額 a	収入額 b	増減額 b - a	備 考
繰 越 金	1,148,034	1,148,034	0	令和6年度特別会計より
雑 収 入	0	1,846	1,846	銀行利息
合 計	1,148,034	1,149,880	1,846	

2 支出の部

区 分	予算額 a	支出額 b	残額 a - b	備 考
研究 研修 会	187,000	61,439	125,561	九特連大会（長崎県） 派遣旅費（事務局長） 16,100 派遣旅費（提案者2名） 28,400 派遣旅費（助言者） 16,939
活動補助	0	0	0	
研究 調査	0	0	0	
九特連 佐賀大会	積立金	0	0	
	準備金	0	0	
	運営補助	0	0	
合 計	187,000	61,439	125,561	

収入合計 - 支出合計 = 残額  
1,149,880 - 61,439 = 1,088,441

3 次年度繰り越し金

1,088,441円を次年度へ繰り越します。


令和7年度佐賀県特別支援教育研究会特別会計について、証拠書類、預金通帳並びに会計簿を照合検査した結果、適正に処理されていることを認め、報告いたします。

令和8年3月 18日

監査委員


みやき町立 北茂安小学校

校長

吉岡 功太郎 

みやき町立 中原中学校

校長

川原 文 

## 佐賀県特別支援教育研究会会則 変更について

佐賀県立鳥栖特別支援学校の開校、本研究会入会に伴い、内規の変更をします。

### (内規の変更)

特別支援学校の変動により、佐賀県特別支援教育研究会会長を、令和7年(西暦2025年度)を基準として、2年ごとに次の順番で持ち回りとする。

#### (事務局校)

うれしの特別支援学校 ⇒伊西地区  
⇒中原特別支援学校 ⇒三神地区  
⇒伊万里特別支援学校 ⇒伊西地区  
⇒大和特別支援学校 ⇒佐城地区  
⇒唐津特別支援学校 ⇒唐津地区  
⇒うれしの特別支援学校 ⇒杵武地区  
⇒鳥栖特別支援学校 ⇒佐城地区  
⇒伊万里特別支援学校 ⇒

#### (事務局校)

⇒大和特別支援学校 ⇒杵武地区  
⇒唐津特別支援学校 ⇒附属特別支援学校  
⇒うれしの特別支援学校 ⇒鹿嬉藤地区  
⇒鳥栖特別支援学校 ⇒三神地区  
⇒伊万里特別支援学校 ⇒伊西地区  
⇒大和特別支援学校 ⇒三神地区  
⇒唐津特別支援学校 ⇒附属特別支援学校

## 佐賀県特別支援教育研究会(県特研)の概要について

佐賀県立鳥栖特別支援学校の開校、本研究会入会に伴い、1組織について(3)役員についての役員人数を変更します。

### (3) 役員について

①理事：各市郡若干名、各特別支援学校、各研究会より1名ずつ

現行は12地区、3研究会の代表の校長先生、8校の特別支援学校の校長先生の計23名

②常任理事：各支部、特別支援学校、各研究会より1名ずつ(11名)

③幹事：若干名(現行は各支部、各特別支援学校、各研究会より教諭1名ずつの17名)

④会長1名、副会長2名、監査2名

⑤事務局：事務局長1名、会計1名、幹事(庶務)1名の計3名

令和8年度 佐賀県特別支援教育研究会役員(案) ◎: 常任理事

役 職 名		氏 名	勤 務 校	電話番号	F A X	
三 神	鳥栖・基山	理事	四 島 誠	基山町立若基小学校	0942-92-0410	92-8006
	神埼市・郡	理事	仲 村 利英子	神埼市立千代田中部小学校	0952-44-2005	44-3794
	三養基郡	理事 ◎	大 家 淳 子	みやき町立中原小学校	0942-94-2044	94-2896
		幹事	中 山 由 紀			
佐 城	佐賀市小学校	理事	中 村 佳 代	佐賀市立久保泉小学校	0952-98-1171	98-1190
	佐賀市中学校	理事	青 柳 正 文	佐賀市立鍋島中学校	0952-30-5811	30-5812
	小城・多久	理事 ◎	本 村 信	多久市立東原庫舎中央校	0952-74-3971	74-3972
		幹事	野 口 真 貴			
唐 津		理事 ◎	古 川 雅	唐津市立西唐津小学校	0955-72-3165	72-3167
		幹事	蘭 乃 婦子	唐津市立鬼塚中学校	0955-78-0135	78-1194
伊 西		理事 ◎	福 田 哲 也	有田町立有田中部小学校	0955-42-3167	43-4358
		幹事	前 田 美紀子	伊万里市立南波多郷学館	0955-24-2007	24-2006
杵 武	武雄市	理事	江 頭 満 江	武雄市立武雄北中学校	0954-27-2004	27-2009
	杵島郡	理事 ◎	白 濱 正 博	白石町立六角小学校	0952-84-2009	84-5569
		幹事	南 里 朋 子			
鹿 嶋 藤	鹿島・太良	理事	森 義 孝	太良町立大浦中学校	0954-68-2029	68-3690
	嬉野市	理事 ◎	橋 本 澄 子	嬉野市立五町田小学校	0954-66-2063	66-2322
		幹事	酒 井 康 仁	太良町立大浦中学校	0954-68-2029	68-3690
佐賀県 難聴・言語障害教育研究会		理事 ◎	中 島 賢 治	伊万里市立大坪小学校	0955-23-6148	23-6149
		幹事	百 武 貴 子			
佐賀県 情緒障害教育研究会		理事 ◎	坂 本 康 子	武雄市立東川登小学校	0954-23-2905	23-2911
		幹事	中 村 みづほ			
佐賀県 LD・ADHD等教育研究会		理事 ◎	陣 内 美 紀	伊万里市立国見中学校	0955-23-5195	23-5196
		幹事	樋 口 千代美	伊万里市立二里小学校	0955-23-3463	23-3409
特 別 支 援 学 校	金 立	理事	近 藤 清 孝	佐賀県立 金立特別支援学校	0952-98-1135	71-8001
		幹事	中 尾 信 義			
	唐 津	理事	杉 光 政 実	佐賀県立 唐津特別支援学校	0955-78-2394	70-3350
		幹事	福 山 祐 香			
	大 和	理事	福 島 三 恵	佐賀県立 大和特別支援学校	0952-62-1221	51-2009
		幹事	大古場 絵 美			
	伊 万 里	理事	山 口 拓 基	佐賀県立 伊万里特別支援学校	0955-23-8554	20-1005
		幹事	山 口 美 里			
	中 原	理事 ◎	田 代 孝	佐賀県立 中原特別支援学校	0942-94-3575	81-8002
		幹事	河 野 麻 美			
	附 属	理事	大 川 和 広	佐賀大学教育学部 附属特別支援学校	0952-29-9676	28-3850
		幹事	鐘ヶ江 梓			
	う れ し の	理事	高 橋 正 司	佐賀県立 うれしの特別支援学校	0954-66-4911	66-4936
		幹事	西 宣 子			
鳥 栖	理事	竹 本 久 美	佐賀県立 鳥栖特別支援学校	0942-50-6900	50-6920	
	幹事	御 厨 廉 平				
事 務 局	会 長	杵 武	白 濱 正 博	白石町立六角小学校	0954-84-2009	84-5569
	副 会 長	三 神	大 家 淳 子	みやき町立中原小学校	0942-94-2044	94-2896
		中原 特支	田 代 孝	佐賀県立中原特別支援学校	0942-94-3575	81-8002
	事 務 局 長	中 原 特 支	梶 原 ミ サ	佐賀県立中原特別支援学校	0942-94-3575	81-8002
会 計	福 島 かのこ					
監 査			富 永 和 重	みやき町立北茂安小学校	0942-89-2123	89-2169
			林 寛	上峰町立上峰小学校	0942-94-2038	94-2897

令和 8年度 佐賀県特別支援教育研究会 業務計画 (案)

事業名	期日	業務内容	会場等
・第1回運営委員会	4月23日(木) 15:00~16:30	・第1回理事・幹事研修会に向けての打ち合わせ	中原特別支援学校 (みやき町大字原古賀)
・第1回理事研修会 ・第1回幹事研修会	4月30日(木) 15:30~16:30	・令和7年度業務・会計報告、監査報告 ・令和8年度役員選出 ・令和8年度業務計画案・予算案について ・令和8年度表彰候補者推薦について ・令和8年度九特連大分大会について ・その他	佐賀県教育センター 大研修室 (佐賀市大和町大字川上927番地 TEL 0952-62-5211)
・九特連大分大会評議員会①	5月 日 ( ) 15:15~16:45	・令和7年度業務・会計報告、監査報告 ・九特連大分大会について (令和8年度業務計画・予算案・大会日程等) (会長、副会長、事務局長が参加)	オンライン予定
・第2回幹事研修会	総会がリモート開催のため実施しない	・総会準備 その他	
・総会及び第1回研修会	6月2日(火) 14:30~16:30	[総会] ・会長挨拶 ・R8年度役員案 ・R7年度業務、会計報告、監査報告 ・R8年度業務計画案、予算案、審議 ・R8年度九特連大分大会について その他 [研修会] ・講演:「わかる」「できる」ICT活用 講師:松永 泰臣氏 (佐賀県立中原特別支援学校)	中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催
・九特連大分大会評議員会②	月 日 ( ) 15:15~16:45	・九特連大分大会に向けての打ち合わせ (会長、副会長、事務局長が参加)	オンライン予定
・研究調査	7月~8月	「佐賀県特別支援学校及び特別支援学級・通級指導教室設置校一覧」作成	中原特別支援学校
・夏季研究大会	7月31日(金) 9:00~16:30	第50回 九州地区難聴・言語障害教育研究会 佐賀大会 第62回 佐賀県特別支援教育研究会 夏季研究大会 ・主題 「これからの難聴・言語障害教育のあり方を考える」 ~子どもや保護者のニーズに応える支援や連携をめざして~ ・記念講演 「演題未定」 講師 明治学院大学 心理学部教育発達学科 教授 梅津 亜希子氏	アバンセ (佐賀市天神3-2-11 TEL 0952-26-0011)
・第3回幹事研修会	8月20日(木) 9:30~10:15	・「総会及び研修会」の反省 ・機関紙「ともしび その68」編集・刊行について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催
・第2回研修会	10:30~12:00	・九特連大分大会プレ発表 (唐津市立北波多小学校、唐津特別支援学校)	
・九特連大分大会評議員会③	月 日 ( ) 15:15~16:45	・九特連大分大会に向けての打ち合わせ (会長、副会長、事務局長が参加)	オンライン予定
・第65回全特連全国大会「新潟大会」	10月15日(木)~16日(金)	・主題 「一人一人が輝きながら 共に支え合い 未来を創る子どもたち ~共生社会の実現に向けて、私たちはどうつながり合い、子供たちの成長をどう支えるか~」 ・記念講演演題:「障がいのある子どもたちの世界 ~一人一人のニーズに合わせた特別支援が自立を開く~」 講師:(株)PRIGE SPECIAL EDUCATION WORKS 代表取締役 小嶋 悠紀氏	第1日目(開会式・全体会) ・りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 (新潟市中央区一番堀町3-2 TEL 025-224-5811) 第2日目(分科会) ・朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (新潟市中央区万代島6-1 TEL 025-246-8400)
・第60回九特連研究大会「大分大会」	11月19日(木)~20日(金)	・主題 「共生社会の中で自分の力を最大限に発揮する子どもの育成をめざす特別支援教育の推進」 ・講演演題:「共生社会の中で自分の力を最大限に発揮する子供の育成をめざす特別支援教育の推進」 講師:全日本特別支援教育研究連盟 理事長 植草学園大学 名誉教授 名古屋 恒彦 氏 ・第6分科会 交流および共同学習 提案者:唐津市立北波多小学校 高添 紗恵子先生 ・第7分科会 発達障害への支援 提案者:佐賀県立唐津特別支援学校 大野 登紀恵先生 司会者:佐賀県立中原特別支援学校 梶原 ミサ 指導助言者:佐賀県教育委員会教育振興課特別支援教育室 内田 直子指導主事	第1日目(全体会) ・J:COMホテルホール大分 (大分市金池南一丁目5番1号 TEL 097-576-7555) 第2日目(分科会) ・別府市鶴見小学校 ・大分県立中央支援学校 ・大分県立新生支援学校 ・大分県立さくらの杜高等支援学校 ・大分大学教育学部附属特別支援学校 ・大分市立鶴崎小学校 ・大分市立原川中学校
・第4回幹事研修会	11月24日(火) 15:30~16:30	・上期運営の反省 ・「障害児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会」について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催
・第3回研修会	11月29日(日)	第67回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会 感謝状受賞者推薦5名: 唐津地区、鹿嶋藤地区、附属特別支援、伊万里特別支援、中原特別支援 役員:副会長、記録、受付、保育など	佐賀地区
・第2回運営委員会	12月中旬	・第2回理事・第5回幹事研修会に向けての打ち合わせ	中原特別支援学校 (みやき町大字原古賀)
・第2回理事研修会 ・第5回幹事研修会	1月8日(金) 15:00~16:30	・令和8年度業務・会計に関する中間報告 ・令和9年度業務計画・予算案について ・機関誌「ともしび その68」の発刊 ・その他	佐賀県教育センター(仮) (佐賀市大和町大字川上927番地 TEL 0952-62-5211)
・新年情報交換会	1月8日(金) 19:00~21:00	・県特研、手をつなぐ育成会、知的障害者福祉協会、社会就労センター協議会の四者共催	ホテルマリタール創世 (佐賀市神野東2-5-15 TEL 0952-33-5511)
・会計監査	3月下旬	・令和8年度会計監査	中原特別支援学校

令和8年度 佐賀県特別支援教育研究会 一般会計 収支予算(案)

1 収入の部

(単位:円)

区 分	R 8年度予算額 a	R 7年度予算額 b	増減額 a - b	備 考
負 担 金	432,055	434,010	△ 1,955	1,955 円× 221 校= 432,055
県費補助金	60,000	60,000	0	
寄 付 金	0	0	0	
活動補助費	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	銀行利息等
繰 越 金	249,931	132,780	117,151	R 7年度残金
計	741,986	626,790	115,196	

2 支出の部

区 分	R 8年度予算額 a	R 7年度予算額 b	増減額 a - b	備 考	
研究大会及び研修会	諸 謝 金	16,000	16,000	0	総会講師等 16,000 夏季研究大会(九難言大会) 0
	旅 費	3,000	3,000	0	総会 3,000 夏季研究大会(九難言大会)
	資 料 費	40,000	10,000	30,000	総会 10,000 夏季研究大会(九難言大会) 30,000
	賃 借 料	50,000	50,000	0	総会、理事・幹事会会場 50,000 夏季研究大会(九難言大会) 0
	印刷製本費	0	0	0	
	会 議 費	0	0	0	
	消 耗 品 費	6,000	6,000	0	総会、理事・幹事会等 6,000 夏季研究大会(九難言大会) 0
	通信運搬費	10,000	20,000	△ 10,000	切手代・通信代
	大会助成金	130,000	0	130,000	夏季研究大会(九難言大会) 130,000
小 計	255,000	105,000	150,000		
研究調査	諸 謝 金	0	0	0	
	旅 費	0	60,000	△ 60,000	
	資 料 費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	賃 金	0	0	0	
	会 議 費	0	0	0	
	消 耗 品 費	0	0	0	
	通信運搬費	0	0	0	
小 計	0	60,000	△ 60,000		
研究成果刊行	旅 費	0	0	0	
	資 料 費	0	0	0	
	印刷製本費	170,000	170,000	0	「ともしび」印刷費
	会 議 費	0	0	0	
	通信運搬費	10,000	10,000	0	切手代・通信代
小 計	180,000	180,000	0		
研究図書購入	資 料 費	5,000	5,000	0	職員録等
	図書購入費	5,000	5,000	0	特別支援教育研究書等
	小 計	10,000	10,000	0	
計	445,000	355,000	90,000		
負担金	九特連負担金	54,000	54,000	0	
	全特連負担金	150,000	150,000	0	
	スポーツ協会費	6,000	6,000	0	
	小計	210,000	210,000	0	
事務予備費	86,986	61,790	25,196		
合 計	741,986	626,790	115,196		

※九特連負担金 知的障害特別支援学級の設置数が4以下設置の学級 308学級×150円=46,200円  
 知的障害特別支援学級、特別支援学校の知的障害学級が5学級以上の学校 7校×750円=5,250円 計51,450円  
 振込手数料550円 合計52,000円

※全特連分担金 佐賀県下学級数501学級×250円=125,250円、振込手数料417円 合計125,667円  
 R 7実績で計算

○特別会計趣旨

1 支出

- ・夏季研究大会等の講師謝金、旅費、会場費等が多額になり、一般会計予算を超えた場合、その都度審議して特別会計から補填する。
- ・九特連・全特連大会への派遣費及び視察費（交通費、旅費、宿泊費等）の補助として使用する。
- ・自県で行われる大きな大会（全特連大会、九特連大会等）の運営費補助として使用する。

2 収入

- ・自県で開催した九特連・全特連の大会費（参加費）等の残金を特別会計の収入とする。

1 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 a - b	備 考
繰 越 金	1,088,441	1,148,034	△ 59,593	令和7年度特別会計より
雑 収 入	0	0	0	銀行利息
合 計	1,088,441	1,148,034	△ 59,593	

2 支出の部

区 分	本年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 a - b	備 考
研究 研修会	205,500	187,000	18,500	九特連大会（大分県） 派遣旅費（会長） 20,300 派遣旅費（事務局長） 20,300 派遣旅費（提案者2名） 40,600 派遣旅費（助言者） 20,300 全特連大会（新潟県） 派遣旅費（会長） 104,000
活動補助	0	0	0	
研究 調査	0	0	0	
九 特 連 佐 賀 大 会	積立金	0	0	
		0	0	
	準備金	0	0	
	運営補助	0	0	
合 計	205,500	187,000	18,500	

収入合計(A) 1,088,441

支出合計(B) 205,500

収支残高(A)-(B) 882,941

(繰り越し金)

※繰り越し金 = (総収入額) - (研究研修会支出) は次年度へ繰り越します。

# 県特研 事業・提案輪番について（R 8 年度）

## (1) 提案発表者選出

- 夏季研修会に秋季研究大会を統合し、名称を「夏季研究大会」とする（H 2 9 年度より）。
- 全特連大会、九特連大会の地区の提案発表担当（特別支援学校の輪番はこれまで通り）の輪番を一本化し、佐城 5 地区、唐津 4 地区、鹿嬉藤 2 地区、伊西 2 地区、三神 3 地区、杵武 2 地区の計 18 地区によるローテーションとする。

※ 全特連大会の提案予定で特別支援学級、特別支援学校のうち当たらなかった方は次の年度の提案発表に順送りする。また、大会によって予定より発表数が多かった場合は次の予定を繰り上げるなど、輪番どおりに進めていくことを基本とする。

	R6		R7		R8		R10		R6		R11		R12					
回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
地区	佐城	唐津	杵武	佐城	三神	鹿嬉藤	唐津	佐城	伊西	三神	唐津	佐城	杵武	鹿嬉藤	佐城	唐津	三神	伊西
	①	①	①	②	①	①	②	③	①	②	③	④	②	②	⑤	④	③	②
特別支援学校	1	2	3	4	5	6												
	大和特支	佐大附属特支	うれしの特支	伊万里特支	唐津特支	中原特支	R 11 以降、鳥栖特支											
							R 6 佐賀大会で提案											

※ 夏季研究大会の提案者等は開催担当地区事務局で計画するが、全特連大会や九特連大会発表の事前検討会と位置付け、全特連大会、九特連大会提案者の発表を考慮に入れる。

## (2) 大会開催担当地区について

- ・夏季研究大会の大会開催担当はこれまでどおり次の 6 地区の輪番で行う。
- ・九特連大会、全特連大会が佐賀県担当の年度はそれに替える。その際は、特別支援学校が事務局としての業務を行うため、大会開催年度の事務局のある地区と開催担当を入れ替える。

地区	1	2	3	4	5	6
	唐津	三神	佐城	伊西	杵武	鹿嬉藤

- ・地区と事務局（特別支援学校）の組み合わせは次のとおり。

- ・佐城地区、杵武地区と大和特別支援学校
- ・三神地区と鳥栖特別支援学校
- ・伊西地区と伊万里特別支援学校
- ・鹿嬉藤地区とうれしの特別支援学校
- ・唐津地区と唐津特別支援学校

## ・事務局等の輪番について

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
西暦	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
会長	伊西地区		大和特支		杵武地区		中原特支		三神地区		唐津特支		附属特支		伊万里特支	
副会長	大和特支		杵武地区		中原特支		三神地区		唐津特支		附属特支		伊万里特支		伊西地区	
	杵武地区		中原特支		三神地区		唐津特支		附属特支		伊万里特支		伊西地区		うれしの特支	
事務局	大和特支				中原特支				唐津特支				伊万里特支			

年度	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34
西暦	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
会 長	伊西地区		うれしの 特支		鹿嬉藤 地区		大和 特支		佐城地区		鳥栖 特支		三神地区		唐津 特支	
副会長	うれしの 特支		鹿嬉藤 地区		大和 特支		佐城地区		鳥栖 特支		三神地区		唐津 特支		唐津地区	
	鹿嬉藤 地区		大和 特支		佐城地区		鳥栖 特支		三神地区		唐津 特支		唐津地区		伊万里 特支	
事務局	うれしの特支				大和特支				鳥栖特支				唐津特支			

会長担当の地区及び特別支援学校

三神・佐城・唐津・伊西・杵武・鹿嬉藤、鳥栖・大和・唐津・伊万里・うれしの・附属

事務局（特別支援学校5校）

うれしの⇒大和⇒鳥栖⇒唐津⇒伊万里⇒うれしの

### (3) その他の確認事項

- ・全特連大会、九特連大会などは早くからの準備が必要であるため、事務局は任期終了までにその後8年間の輪番計画を作成する。また、不都合が予想される場合は、早めに検討を行い、変更を周知する。

#### 夏季研究大会について

- ・夏季研究大会は、九特連大会、九情研大会、九難言大会等が開催される場合はそれに替える。
  - ・夏季研究大会は、夏季休業中に行う。基本スタイルは講演会と分科会とする。
  - ・分科会については、
    - ①小学校
    - ②中学校
    - ③特別支援学校
    - ④自閉症・情緒障害
    - ⑤LD・ADHD等
 とする。（開催地区裁量で変更もあり）
  - ・①②③については、九特連大会のプレ発表とする。
  - ・講演については、担当地区で講師を探し、本人からの内諾を得る。その後、県特研事務局が講師派遣依頼書を所属先に、講演依頼文書を本人宛に出す。
  - ・県特研事務局が佐賀県教育委員会、開催地区教育委員会に対して後援依頼を出す。
  - ・案内については開催地区事務局が作成し、県特研事務局が、県内市町立小・中学校及び県内特別支援学校、県内教育事務所、県内市町教育委員会に出す。
- ※佐賀県教育委員会には、総会のみ案内を出す。研究大会については案内を出さなくてよい。

(H29年度県教委より)

※県特研事務局が行うこと⇒県特研会長の印鑑（角印）を必要とする文書の作成（講演依頼文書、提案者依頼文書、助言者依頼文書等）

※開催地区事務局が行うこと⇒県特研事務局が行う以外のこと

- ・原則として、①②の運営については開催地区事務局が行うが、必要に応じて県特研事務局も運営会議には参加するものとする。③の運営については開催地区にある特別支援学校が行う。④⑤の運営については研究会が運営を行うものとする（各研究会の事情により地区の研究会担当者が行ってもよいものとする）。
  - ・運営スタッフについては、開催地区が担当する。
  - ・運営スタッフの割り振りについては、開催地区事務局が行う。
  - ・「ともしび」に掲載するため、講演会要旨、分科会要旨を開催地区でまとめる。
- ※講演会要旨については、まとめた後、講師に確認をしていただき、「ともしび」に掲載していいかの了解を得ておく（開催地区事務局が行う）。
- ※分科会要旨についても、助言者・提案者に「ともしび」掲載の了解を得ておく。
- ※分科会要旨については、2ページ以内に収めるように努める。
- ※余白を、左右上下20mmにしておく。

(4) 上記(1)及び(2)に基づく令和3年度～令和18年度までの計画

**R10までの計画は提案済みであるため、R11からの輪番については、これまでの 大和⇒附属⇒うれしの⇒伊万里⇒唐津⇒中原 の輪番に戻すこととする。**  
**→R11以降は、中原特支を鳥栖特支に変える (R8)**

大会	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
全特連大会	開催担当	近畿 (和歌山)	東北 (秋田)	中国四国 (徳島)	東海北陸 (福井)	北海道 (札幌)	関東 甲信越 (新潟)	九州 (熊本)	近畿
	佐賀県 発表担当				伊西①			中原特支	
九特連大会	開催担当県	熊本	沖縄	福岡	佐賀 佐城 大和特支	長崎	大分	全特連 大会	宮崎
	発表担当	鹿嬉藤① 大和特支	唐津② 附属特支	佐城③ 中原特支	杵武②	三神② 伊万里特支	唐津③ 唐津特支	中原特支	佐城④ 大和特支
九情研大会		福岡	沖縄	長崎	佐賀	大分	熊本	鹿児島	宮崎
九難言大会		宮崎	鹿児島	長崎	沖縄	熊本	佐賀	福岡	大分
県大会及び 夏季研開催担当		杵武 ↓ 中止	鹿嬉藤	九特連大会 準備のため	九特連大会 佐城 大和特支 九情研大会	R3より2年 に1回	九難言大会	R3より2年 に1回	唐津
県特研事務局		大和特別支援学校				中原特別支援学校			

大会	年度	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
全特連大会	開催担当	東北	中国四国	東海北陸	関東 甲信越	九州 (大分)	近畿	東北	中国四国
	佐賀県 発表担当			唐津④ 伊万里特支		佐城② うれしの特支			
九特連大会	開催担当県	鹿児島	沖縄	福岡	佐賀 唐津 唐津特支	大分	長崎	熊本	宮崎
	発表担当	鹿嬉藤② 附属特支	佐城⑤ うれしの特支	三神③ 唐津特支	鳥栖特支 大和特支 附属特支 伊西② 佐城① 唐津① 杵武①	佐城② うれしの特支	三神① 伊万里特支	鹿嬉藤① 唐津特支	唐津② 鳥栖特支
九情研大会		福岡	沖縄	長崎	佐賀	大分	熊本	鹿児島	宮崎
九難言大会		鹿児島	長崎	沖縄	熊本				
県大会及び 夏季研開催担当		R3より2 年に1回	三神	R3より2年 に1回	九特連大会 唐津 唐津特支	R3より2 年に1回	伊西	R3より2 年に1回	杵武
県特研事務局		唐津特別支援学校				伊万里特別支援学校			

○ 大会開催担当について

※ 事務局が任期終了時に8年後までの計画を示すことで、見通しを持った準備ができるようにしておく。

【参考】 ・例年、全特連大会での提案は九州から2県が当たり、4年ごとに回ってくることになり、特別支援学級か特別支援学校のうちのいずれかの提案となる。年度により九州の3県が当たって3年後に輪番が回ってきた年もある。

・他県で開催される九特連大会での提案は特別支援学級と特別支援学校が1つずつ担当する。

※夏季研究大会のサービスの取扱いについて (R元年7月20日特別支援学校 校長会にて)

⇒出張か校外研修か、いずれの取り扱いとするかは各学校長の判断とする。

(5) その他の確認事項

○九特連大会・全特連大会の提案等の輪番について

- ①提案者：基本ローテーション（別紙参照）による。
- ②司会者：県特研事務局より1名を出す。
- ③助言者：事務局が県教育振興課指導主事に依頼する。

年 度	小中学校分科会	特別支援学校分科会	開催県
令和 6年度	各教科等を合わせた指導 杵武②	/	佐賀県
	通常学級における合理的配慮 伊西①		福井県 全特連
令和 7年度	開催県が独自に設定 ・発達障害への指導支援 三神② 中原中学校	各教科等の指導（小学校段階） 伊万里特別支援学校	長崎県
令和 8年度	開催県が独自に設定 ・交流および共同学習 唐津③	開催県が独自に設定 ・発達障害への支援 唐津特別支援学校	大分県
令和 9年度	/	キャリア教育・進路指導 中原特別支援学校	熊本県 全特連
令和10年度	自立活動 佐城④	各教科等を合わせた指導 大和特別支援学校	宮崎県
令和11年度	キャリア教育・進路指導 鹿嬉藤②	自立活動 附属特別支援学校	鹿児島県

【今後の提案割り当て】

年度・開催県 分科会	R 6 佐賀	R 7 長崎	R 8 大分	R 9 熊本	R 10 宮崎	R 11 鹿児島	R 12 沖縄	R 13 福岡	R 14 佐賀
①各教科等の指導 （小学校段階）		伊万里特支						三神③	鳥栖特支 大和特支 附属特支 伊西② 佐城① 唐津① 杵武①
②各教科等の指導 （中学校・高等学校段階）							佐城⑤	唐津特	
③各教科等を合わせた指導	杵武②				大和特支		うれしの特支		
④キャリア教育・進路指導				中原特支		鹿嬉藤②			
⑤自立活動					佐城④	附属特支			
⑥開催県が独自に設定			唐津③						
⑦開催県が独自に設定		三神②	唐津特支						

※各教科等の指導については、小学校段階：小学校・小学部

中学校・高等学校段階：中学校・中学部、高等学校・高等部

※R14佐賀大会については、提案地区・学校を示しており、どの分科会を担当するかは、その都度決定する。

## 県特研申し合わせ事項

令和 8年 4月 30日

### 1 事業について

#### (1) 夏季研究大会について

29年度より従来の「夏季研修会」と「秋季(授業)研究大会」を統合し、「夏季研究大会」とする。

##### ① 担当ローテーション(別紙参照)

##### ② 大会旅費等について

- ・大会当日の発表者と指導助言者の旅費を大会の予算で賄うことを原則とする。
- ・大会の発表者、指導助言者の旅費の部分で予算オーバーが起こる時には、事務局と相談する。
- ・事前打ち合わせ会の旅費は、大会予算を使わない。(地区の会などでお願いしたい)
- ・大会補助については特別会計から出さない。29年以降は検討する。

##### ③ 講師謝金について

a. 県職員には謝金は支給しない。謝金の代わりに弁当または手土産を渡している。

b. 謝礼の基準は次のようにする。

- ・大学教授 … 6,000円(1時間あたり)
- ・大学准教授 … 5,000円(1時間あたり)
- ・一般講師 … 4,000円(1時間あたり)

c. 旅費

- ・車利用の場合は、1kmあたり20円で計算する。
- ・県職員の旅費 … 勤務校からのキロ数×20円で支給する。

##### ④ その他

- ・九難言佐賀大会、九情研佐賀大会については、夏季研究大会を兼ねて実施する。
- ・R2より全特連大会、九特連大会の前年と翌年は、夏季研究大会を実施しない。(2年に1回)
- ・挨拶、来賓紹介等、開催地区が担当して行う。

#### (2) 新年情報交換会について

- ・1月第2金曜日または第3金曜日に開催する。

#### (3) 機関誌「ともしび」について

- ・年度内に発刊・配布する。

平成31年度より、九特連大会や各種大会等の発表資料を持って研究報告とする。また、夏季研究大会の大会集録としての機能を持たせることにより、会員校の負担軽減とする。

#### ~~(4) 障害者スポーツ大会について~~

~~・5月と10月に開催~~

~~・全国障害者スポーツ大会県代表選考会は5月の日曜日に開催。~~

~~・県障害者スポーツ大会は、10月開催予定~~

~~・開会式は、県民体育大会、佐賀県障害者スポーツ大会、さがねりんピックの合同となる。~~

~~・参加資格…4月1日現在で6歳以上の者。ただしボウリング、卓球競技については10歳以上の者。~~

~~・大会要項は事務局より全会員校に送付する。~~

~~・これまでは、ゼッケンは事務局で保管・管理していたが、ゼッケン番号が個人のものとなったので、保管・管理については各学校で行う。→管理・運営等は各校の体育科で行っている。~~

#### (5) 総会について

- ・県内全小中学校に案内を出す。

学校から1名も参加できない場合は、委任状を提出してもらう。

#### (6) 研究調査について

[目的]

- ・先進校視察等による情報収集
- ・特別支援教育についての問題提起の材料を探す

[調査方法]

- ① 医療的ケアや研究モデル校等の視察
- ② 研修会・研究会・セミナー等への参加

[手続き]

- ・年間1件(6月～10月まで)で募集をかけ、旅費、宿泊費、参加費を含めて、1件につき、60,000円を上限とする。

- ・ 県特研事務局で審査をして決定をする
- ・ 研修後は報告書を作成し、機関誌「ともしび」に掲載をする
- ・ 夏季研究大会を実施しない年度に（2年に1回）実施する

## 2 研究テーマについて

- ・ 県特研研究テーマは、4年毎に見直す。

### 令和8年度～11年度テーマ（案）

「共生社会の中で多様な教育的ニーズのある子どもの可能性を引き出す指導・支援をめざして」

## 3 事務局輪番について（別紙参照）

- ・ 事務局は特別支援学校5校で回し、任期は4年間とする。
- ・ 事務局後半2年間は事務局校の校長が会長となるようにする。

### ・ 事務局輪番

和暦	H25～28	H29～R2	R3～R6	R7～R10	R11～R14	R15～R18	R19～R22
西暦	13～16	17～20	21～24	25～28	29～32	33～36	37～40
学校	伊万里	うれしの	大和	中原	唐津	伊万里	うれしの
備考	九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施
年号	R23～R26	R27～R30	R31～R34	R35～R38	R39～R42	R43～R46	R47～R50
西暦	41～44	45～48	49～52	53～56	57～60	61～64	65～68
学校	大和	鳥栖	唐津	伊万里	うれしの	大和	鳥栖
備考		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施	

## 4 九特連大会・全特連大会の提案等の輪番について

### （1）九特連大会について

- ① 提案者
  - ・ 基本ローテーション（別紙参照）による。
- ② 司会者
  - ・ 県特研事務局より1名を出す。
- ③ 助言者
  - ・ 事務局が県教育振興課指導主事に依頼する。

### （2）全特連大会提案者について（4年に1回程度）

- ① 基本ローテーション（九特連大会に同じ）
- ② 申し合わせ事項
  - ・ 九州地区で全特連大会が開催された場合、九特連大会ローテーションを適用する。司会者、助言者についても同様。

## 5 九特連大会、全特連大会等の派遣費について

### （1）提案者、司会者、助言者、会長について

- ・ 必要に応じて一般会計及び特別会計より支出する。
- ・ 助言者については、佐賀県教育委員会教育振興課特別支援教育室に依頼し、該当する分を支出する。
- ・ 派遣費として1泊2日分交通費、宿泊代または日帰り交通費、参加費を支出する。

### （2）全特連功労賞表彰について

表彰者の派遣費は支出しない。

### （3）その他

- ・ 提案者事前視察、応援者等の派遣費は支出しない。

6 大会補助について

- ・九難言佐賀大会、九情研佐賀大会を夏季研究大会と兼ねて実施する場合は、夏季研究大会の費用分を補助する。(13万円)

7 会費について

- ・会費は市町法令外負担金申請を行い、決定通知を元にその金額を定める。  
平成22年度～ 1,955円
- ・特別支援学級設置学校及び特別支援学校において会費を負担するものとする。その際、分校は本校に含める。小中一貫校は、学校長毎に1校とカウントする。

8 表彰候補者推薦について

- (1) 全特連功労賞(1名) … 前年度に三役、事務局で選出する。
- (2) 障がい児(者)の教育と福祉・就労振興研修佐賀県大会における感謝状(5名)
  - ・前年度に割り当て地区、学校で選出する。(計画は下表のとおり)
  - ・5名は、2地区の小中学校と3校の特別支援学校より1名ずつを推薦する。

年度	推薦地区および特別支援学校	
令和4年度	伊西地区、杵武地区	中原特別支援、金立特別支援、大和特別支援
令和5年度	唐津地区、鹿嬉藤地区	唐津特別支援、うれしの特別支援、附属特別支援
令和6年度	三神地区、佐城地区	伊万里特別支援、中原特別支援、金立特別支援
令和7年度	伊西地区、杵武地区	大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援
令和8年度	唐津地区、鹿嬉藤地区	附属特別支援、伊万里特別支援、中原特別支援
令和9年度	三神地区、佐城地区	金立特別支援、大和特別支援、唐津特別支援
令和10年度	伊西地区、杵武地区	うれしの特別支援、鳥栖特別支援、附属特別支援
令和11年度	唐津地区、鹿嬉藤地区	伊万里特別支援、中原特別支援、金立特別支援、
令和12年度	三神地区、佐城地区	大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援
令和13年度	伊西地区、杵武地区	鳥栖特別支援、附属特別支援、伊万里特別支援

9 今後の予定

平成年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
西暦年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
全特連大会	62 中国四国 (徳島)	63 東海北陸 (福井)	64 北海道 (札幌)	65 関東甲信 (新潟)	66 九州 (熊本)	67 近畿	68 東北	69 中国四国
九特連大会	57 福岡	58 佐賀	59 長崎	60 大分	61 熊本	62 宮崎	63 鹿児島	64 沖縄
九難言大会	47 長崎	48 沖縄 (全難言)	49 熊本	50 佐賀	51 福岡	52 大分	53 宮崎	54 鹿児島
九情研大会	51 長崎	52 佐賀	53 大分	54 熊本	55 鹿児島	56 宮崎	57 福岡	58 沖縄
九肢研大会	60 鹿児島	61 熊本 (全肢研)	62 佐賀	63 福岡	64 長崎	65 沖縄	66 宮崎 大分	67 鹿児島
九病連大会	63 福岡 (全病連)	64 熊本	65 大分	66 宮崎	67 沖縄	68 長崎	69 佐賀 (全病連)	70 福岡

令和8年度 佐賀県特別支援教育研究会 **負担金納入について**

1. 本会会費（負担金）は、1校あたり、1,955円（小中一貫校で校長が1名の場合の負担金は1校分納入）です。これは令和8年度「県内市町会法令外負担金」の制度に則っており、各市町教育委員会は、この金額を予算化することになっています。特別支援学校も、これに準じてお願いします。

2. 納入方法は地区によって違います。下記を御覧になって、同封の書類をご確認の上、手続きをお願いします。なお、地区は令和8年4月1日時点での市町村合併状況によっています。

3. 納入締め切り：令和8年7月10日（金）

4. 問い合わせ先：佐賀県特別支援教育研究会 事務局

佐賀県立中原特別支援学校内（会計担当 福島）

〒849-0101 三養基郡みやき町大字原古賀7262-1

TEL（0942）94-3575 FAX（0942）94-4223

記

分類	地区または学校	納入方法	封筒に入れている書類
A	鳥栖市、佐賀市 多久市、武雄市、 唐津市、玄海町 白石町	市役所や町役場へ事務局より一括して請求書を送ります。各学校での納入手続きは特に必要ありません。	本状以外はありません。
B	〔伊西〕伊万里市 ・西松浦郡地区 〔鹿嬉藤〕鹿島市 ・嬉野市・藤津郡 地区	<u>地区の事務局</u> で集金して一括納入してもらいます。学校の事務室に請求する前に、地区の研究会の会合等で、方法を確認してください。	①学校長あて納付依頼書 ②請求書を同封してない旨の説明書
C	上記A、B以外の 地区（三養基郡、 神埼郡、神崎市 杵島郡、小城市）	学校毎に <u>納付依頼書</u> と <u>請求書</u> を <u>学校の事務室</u> に提出し、事務室から市や町の役場に請求してもらう。 *神崎市・みやき町・小城市は、担当校が一括納入	①学校長あて納付依頼書 ②請求書
D	上峰小、上峰中	上記Cの地区の中で、特に <u>別資料</u> を必要とする学校	① 納付依頼書 ② 請求書 ③ 事務局通帳コピー
E	特別支援学校	納付依頼書と請求書を学校の事務室に提出し、事務室から納入してもらう。	① 学校長あて納付依頼書 ② 請求書

## 県特研より推薦の表彰候補者について

### (1) 令和7年度表彰者

	氏名	所属・職名	備考
1	いぬやま やすこ 犬山 泰子	伊西地区（有田中部小学校）・教諭	7月27日（日） 伊万里市民センター
2	ばば せいこ 馬場 聖子	杵武地区（橘小学校）・教諭	
3	じんのうち あや 陣内 綾	大和特別支援学校・教諭	
4	ほった もとこ 堀田 素子	唐津特別支援学校・教諭	
5	ひさの やすこ 久野 泰子	うれしの特別支援学校・教諭	

- ①第66回知的障害児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会での感謝状贈呈（5名推薦）  
 ※特別支援教育通算10年以上の先生  
 ※表彰候補者は昨年度末に推薦していただいておりますのでその当時の在籍校を記しております。

### ②全特連功労賞表彰

	氏名	所属・職名	備考
1	まつの ひろふみ 松野 博文	元 大坪小学校・校長	10月23日（木）、24日（金） 全特連北海道大会にて

### (2) 令和8年度表彰候補者推薦

	氏名	所属・職名	備考
1	にし たかこ 西 貴子	唐津地区（西唐津小学校）・教諭	11月29日（日） 佐賀市内
2	のだ めぐみ 野田 めぐみ	鹿嬉藤地区（浜小学校）・教諭	
3	おの まちこ 小野 真智子	附属特別支援学校・教諭	
4	たけした きみあき 竹下 君昭	伊万里特別支援学校・副校長	
5	にしおか のりとし 西岡 徳利	中原特別支援学校・特任指導教諭	

- ①第67回知的障害児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会での感謝状贈呈（5名推薦）  
 ※特別支援教育通算10年以上の先生  
 ※表彰候補者は昨年度末に推薦していただいておりますのでその当時の在籍校を記しております

### ②全特連功労賞表彰者推薦

	氏名	所属・職名	備考
1	おの たつり 小野 龍智	元 大和特別支援学校・校長	10月15日（木）、16日（金） 全特連新潟大会にて

## 令和8年度 機関誌「ともしび その68」の作成について

### 1 編集目的

- (1)各学校、地域の情報を交換し、特別支援教育の啓発に役立てる。
- (2)研究の実践記録や資料を整理し、教育実践に活用する。

### 2 編集要項 全60ページ程度（ページ数は若干の増減可）

項 目		内 容	頁数	原稿執筆者	備 考
表 紙 絵	0000	児童・生徒作品		鹿嬉藤支部	写真データ
目 次	0001	目 次	1	県特研事務局	表紙の裏に掲載
あ い さ つ	001	佐賀県特別支援教育研究会	1	県特研会長	
全特連功労者表彰	002	受賞に寄せて	1	功労賞受賞者	原稿依頼
大会及び研修会報告	003	総会及び研修会	4	県特研事務局	講演は要旨のみ
各種大会参加報告	004	全特連新潟大会	4	県特研事務局	
	005	九特連大分大会	8	〃	
	006	九難言佐賀大会	8	佐難言事務局資料提供	発表等、大会参加の資料や原稿があれば、執筆者の許可を取りそのまま掲載
	007	九情研熊本大会	2	佐情研事務局資料提供	
	008	九肢研福岡大会	2	金立特支より資料提供	
	009	九病連宮崎大会	5	中原特支より資料提供	
実践・研修報告		各地区での研究会、視察等	8		
業 務 報 告	010	本 部	1	県特研事務局	
	011	支 部	三 神	1	三神地区幹事
	012		佐 城	1	佐城地区幹事
	013		唐 津	1	唐津地区幹事
	014		伊 西	1	伊西地区幹事
	015		杵 武	1	杵武地区幹事
	016		鹿 嬉 藤	1	鹿嬉藤地区幹事
	017	佐賀県難聴・言語教育研究会	1	佐難言事務局	
	018	佐賀県情緒障害教育研究会	1	佐情研事務局	
	019	LD・ADHD等教育研究会	1	LD・ADHD等研究会事務局	
資 料	020	佐賀県の特別支援教育の現状	2	県特研事務局	
	021	会則	2	〃	
	022	役員名簿	1	〃	
編 集 後 記	023	編集後記	1	〃	

### 3 配布先及び冊数

特別支援学級・通級指導教室設置校	各学校 1	佐賀県手をつなぐ育成会	1
特別支援学校（8校）	8	佐賀県知的障害者福祉協議会	1
県立盲学校	1	佐賀県社会就労センター協議会	1
県立ろう学校	1	表彰等寄稿者（7人）	7
県教委教育振興課特別支援教育室	1	表紙絵採用者（佐城支部児童生徒）	1
教育センター	1	県特研事務局保存用	2
教育事務所（東部・西部・北部支所）	3		

$$2 + 1 + 4 + 8 + 1 + 0 + 7 + 1 + 2 = 242 \quad 250 \text{部くらい}$$

4 原稿執筆要領 別紙にて原稿執筆者にお知らせいたします。

5 原稿締め切り 令和8年11月6日（金）17時

6 原稿提出先 佐賀県立中原特別支援学校内 県特研事務局

7 配付について 年度内に配布（1月理事・幹事研修会の折に配布予定）と郵送

## 令和8年度 佐賀県特別支援教育研究会総会及び第1回研修会アンケート

本日の総会及び第1回研究会へのご参加ありがとうございました。

今回の総会及び研修会につきましてご意見やご質問、お気づきの点などをいただき、今後の参考にさせていただきたいと考えております。大変恐れ入りますが、下記のQRコードからアンケートにご回答いただきますようお願いいたします。ぜひ、皆様の貴重なご意見をお聞かせください。

ご多忙の中恐縮ですが、6月19日（金）までにご回答を返送していただきますようお願いいたします。

令和8年度佐賀県特別支援教育研究会  
総会及び第1回研修会アンケート

